

第8回 苗場山麓ジオパークガイド認定検定 解説と解答例

20230225

番号	解 説	解答例
1	「geopark (ジオパーク)」は、直訳すると「大地の公園」ということになります。ジオ(大地・地形・地質)・エコ(生態)・カルチャー(歴史文化)を総括的にとらえ、保全と教育、持続可能な社会を実現するユネスコのプログラムです。	B
2	イギリスやドイツなどの大西洋に面した国々は、その気候が温和(西岸海洋性気候)なため、日本と緯度が変わらないように感じます。しかし、ロンドンは北緯51.4度と北海道よりも高緯度でロシアのサハリンの緯度とほぼ同じです。ちなみにパリは48.5度、北京は39.5度です。	A
3	新潟県の津南町と県をまたいで長野県栄村と組んで苗場山麓ジオパークを形成しています。	B
4	国立公園や国定公園においては、植物や動物をはじめ、岩石鉱物も採取してはいけません。この規制がかかっていなくても、自然の保全の考えからすれば、極力採取は控えましょう。代わりに写真や記録をとりましょう。	B
5	普及版のハンドブックに載っているスローガンです。どの言葉が入ってもそれらしくなります。大地は川と火山から作り出されました。このキャッチフレーズは、いつでも口ずさめられるとよい。	A
6	鳥甲山の第二期の火山活動で噴き出した軽石を主体とした噴出物が中津川の東、上野原付近に大量に流れ、その重みと圧力で軽石がつぶれてレンズ形に変化した溶結凝灰岩になりました。	A
7	毎年の降雪が雪解けの時期に急崖をすべり落ちます。そのため、急斜面に筋状の溝ができています。筋状地形「アバランチシュート」ともいいます。地形的に特色のあるところです。	D
8	鳥甲火山の活動で堆積した地層です。地層をつくるものは、主に火山灰です。大規模な火山活動があったことを示しています。	C
9	主に苗場山(鳥甲火山を含む?)をつくる溶岩や火山砕屑岩などが崩壊し堆積した地層でできており、降雨等を多く含んだ結果、何かのきっかけで崩壊したと考えられます。	B
10	切明は、文政11(1828)年に鈴木牧之が訪れた時は、「湯本」と呼ばれる温泉地でした。弘化4(1847)年の善光寺地震の際に土砂崩れで湖底に沈みました。翌年、佐久間象山が工事を指導し、天然ダムを切り開いたことから「切明」と呼ばれるようになりました。名前は正確に覚えましょう。	A
11	雑魚川沿いには、鳥甲火山の活動で噴出した溶岩や火砕岩(角礫や火山弾・火山灰・軽石等を含んだ堆積物)が多く分布しています。写真は、火砕岩が一部溶結した露頭です。	A
12	落差約25m、結束層の堅い変質した安山岩の凝灰角礫岩が作る滝です。奥志賀林道沿いの切明から約6kmのところに位置します。雑魚川沿いに残る原生林の中の林道から滝に下りる道があります。	A
13	この山体を構成する安山岩は、魚沼層群に貫入したもので見事な柱状節理がみられます。山伏山2km東方には、かつて海だったことを示す二枚貝などの化石が堆積している地層を見ることができます。	B
14	苗場山麓には、中生代や古生代の地層は地表付近では見つかっていません。中条川の崩壊と地すべりは、B~Dの原因があったためです。弘化4(1847)年の善光寺地震の際にも中条川上流で大崩壊と地すべりが発生しています。	A
15	昭和20年は、新潟県内でも稀に見る豪雪でした。最高積雪の記録は、正確に覚えましょう。標柱が約2度東に傾いていますが、これは、12年前の長野県北部地震の際に傾きました。震災遺構としてそのまま保存しています。	C
16	江戸時代、千曲川において物流に船を使いたいという要請から、浅瀬で地質的にも難所の小滝付近に運河をつくることになりました。川原には障害になる巨大な礫が多くあり、その岩を砕こうとしたときの楔の跡が残っています。	C
17	約40万年前からの火山灰を挟む露頭です。この火山灰層の中には、妙高から飛んできた火山灰をはじめ、遠く鳥取や九州からはるばる飛んできた火山灰がはさまっています。	D
18	約150万年前~100万年前、関田山脈周辺で始まった火山活動により、毛無山の噴出物が古信濃川に流れ込みました。これらの溶岩の中には、無斑晶ガラス質安山岩と呼ばれる黒く光る岩石が含まれ、一部は志久見川沿岸で露頭として確認することができます。斑晶として鉱物がほとんど含んでいないところが特徴です。	B
19	河岸段丘のでき方には、大地の隆起、地球規模の気候変動による海水準の変化と下刻作用や側刻作用など、諸説あります。火山活動が激しいことと段丘の形成は直接関係はありません。	D
20	苗場山麓では、ローム層と呼ばれる赤土の土地が多く分布しています。これは、主に火山灰の地層です。美穂で見られる地層は、ローム層の基準になる地層です。溶岩流ではありません。	B
21	龍ヶ窪の湧水は、柱状節理の岩の間にしみた水が地下水になり、溶岩流の末端から浸みだしています。龍ヶ窪は、標高約470mで段丘面と言うと米原面にあたります。	D

22	石落しの上部をつくる柱状節理の部分は、苗場山の第二期の火山活動で流れ出した溶岩流が原因です。岩石は、安山岩です。厚さは、石落とし付近では、50～100mほどになっています。	C
23	今から50年ほど前に発見されました。詳しい調査で、古型マンモスの臼歯ということが後年わかりました。今から120万年前頃に日本にやってきたようです。日本でも発見は少なく、貴重なゾウとわかりました。	C
24	1.5～0.9万年前に笹場峰の西側の大地が大崩壊し地すべりをおこしました。落差は300m、一気に対岸の中津川をせき止めました。その後ダムアップして今の太田新田集落に中津川が流れた形跡があります。	A
25	結束層のできた年代を問うています。選択肢では、Bが正解です。なお、年代については、諸説あります。	B
26	上部は約30万年前に噴いた苗場火山の溶岩、下部は約80万年前の鳥甲火山の活動による溶岩の層になります。2種類の溶岩流がみられ、紅葉シーズンには、写真撮影のスポットにもなっています。	D
27	この地域では、カモシカのことを「シシ」と呼びます。	B
28	山伏山の風穴は、標高約780mで真夏でも10℃前後の冷風が出ています。かつては、小屋掛けし、蚕種の貯蔵施設として利用された。現在も石組が残されています。	B
29	標高は1020mで地形地質的に水が溜まりやすいため、出口付近に堰堤をつくり、下流の田に水を供給できるようにしました。7月ころには、ミズバショウをはじめ湿地帯の植物が花を咲かせるとともに高原の樹木や多くの昆虫などがみられる地点です。信越トレイルの通過地点にもなっています。	D
30	見倉付近を境に南部の信州秋山郷にはユキツバキが見られなくなります。ユキツバキの南限になっています。	C
31	見倉集落の東側にはトチノキの巨木が多く生育する森が広がっています。新潟県内最大といわれるオオトチノキ(直径約2.7m・森の巨人百選)は有名です。一帯は原生的で優れた自然環境が残る貴重な場所です。	A
32	信濃川を一望できる段丘面(米原面)の突端に築かれた中世の城跡です。戦国時代には上杉氏の番城として使用され、「太平記」にも記されている山城です。	B
33	山号は「金玉山正法院」といい、本山は比叡山延暦寺、天台宗のお寺です。平家の守護神である不動明王が祀られていることから、通称「見玉不動尊」と言われています。	D
34	全国農村景観百選にも選ばれている美しい石垣田が広がっています。石垣は、鳥甲山と苗場山の火山噴出物(柱状節理の岩石)の崩れたものを利用しています。	B
35	苗場山の9合目～山頂の湿原には、たくさんの池塘が点在し、その様子が苗代に見えることから「天の苗代」と呼ばれ、豊穰(豊かなみのり)を祈念し伊米神社が祀られています。	D
36	苗場山麓ジオパークガイドブック概要編のp19コラムによれば、2,000万年前に陥没帯ができ、日本海形成は1,600万年～400万年とあります。年代については諸説あり、100万年の誤差はあります。	C
37	地震についての基本用語の問題です。マグニチュード(M)は、地震そのもののエネルギーの大きさをあらわします。Mが1増えるとエネルギーの大きさは30倍の大きさになります。震度は、地震のゆれの度合いで、場所によって異なります。	D
38	津南町樽田地区の地盤は、魚沼層群の地層で構成され、主にシルト層です。層内に亜炭層を含み、かつては、亜炭採掘の採鉱もありました。当所は、長野県北部地震のゆれで、上盤の地層が滑り落ちて樽田川沢を一時ふさいだ。	D
39	龍ヶ窪の湧水は、昭和60年に環境庁(現在は環境省)から「日本名水百選」に認定されました。平成ではありません。近年やや日のあたりが多くなったか、池の底に藻がふえ、湧水地点が見えにくくなっています。	C
40	苗場山麓でも絶滅の心配のある植物が多くあります。外来種により、在来の植物に影響が見られます。Dのアメリカセンダングサは、外来種です。写真はアメリカセンダングサです。	D
41	苗場山麓ジオパークを構成する津南町と栄村の鳥は、ぜひ知っておいてください。津南町は、ウグイス、栄村は、ブッポウソウです。ちなみに花は、津南町はヒマワリ、栄村はカタクリです。	A
42	Cのヘラクレスオオカブトムシは、中南米のグアドループ島やドミニカ島などに生育する世界最大のカブトムシで全長190mmもあります。もちろん日本ではみつかりません。	C
43	正面ヶ原D遺跡は、旧石器時代の遺跡です。苗場山麓では、稲作の証拠になる弥生土器は出土していません。	D
44	信濃川沿線で出土する土器には、複雑な形状をもつ上部の突起(取っ手ではない)が特徴になっています。写真の②は、突起の恰好が王冠そっくりですね。	C

45	サイトの一つの猿飛橋が一部壊れました。崩壊は、自然の現象ですので、サイトといっても人の手を安易に加えてはいけません。崩壊した原因とその後の変化を注意深く観察し記録していくことが大切です。災害発生の危険がある場合は要検討です。	A
46	2022年度は、再認定のジオパークが5ヶ所あり、それぞれ、再認定されました。新規の認定審査のジオパークはなく、日本ジオパーク(世界9を含む)の数は、46地域のままです。	D
47	SDGsは、「 <u>Sustainable Development Goals</u> 」の頭文字を合体したもので、持続可能な開発目標の意味です。2030年までの目標に、Dの「戦争をしない」は入っていません。	D
48	火焰街道協議会の5市町は、それぞれ津南町・十日町市・魚沼市・長岡市・三条市・新潟市です。	C
49	旧石器時代と縄文時代の境目は、学者によって議論がありますが、選択肢の中では、Cの1.5万年が妥当です。	C
50	気持ちを素直に書いてください。	